

エジプトかいこ
埃及懷古

しおのや
塩谷節山

さんかくりょうあ
三角陵は荒れて
さいげつはる
歲月悠かなり

かいしんぞうはふ
怪神像古りて
さきゅうに
沙丘に没す

ていこんかえ
帝魂返らず
はんか
繁華尽く

ただたいこうきやう
唯大江の旧に
よてなが
依つて流るる
あり
有り

【作者】塩谷 節山(一八七八年～一九六二年)塩谷 温(しおのや おん)のこと。漢学者。東京生まれ。漢学者塩谷青山の子。

号は節山。一九〇二年東京帝国大学漢学科卒。一九〇六年母校助教教授となり、ドイツのライプツィヒ大学、ついで清国の北京および長沙にて研究、一九一二年帰国、一九二〇年元曲に関する研究で文学博士号を授与され、同年教授、一九三九年定年退職、名誉教授となる。

【語釈】*三角陵…ピラミッド。 *怪神像…スフィンクス。 *大江…ナイル河。

【通釈】エジプトに来てみると、ピラミッドは荒れて何年にもなる。スフィンクスも砂丘に埋もれようとしている。帝王のみたまは返らず、当時の高度な文明も滅び、只、ナイル河だけが昔と同じように流れているだけ。